

R7 校内研究

創造力・表現力に富み、

正解のない課題に納得解を導く児童の育成

～語り合い、振り返りからの課題設定～

昭島市立富士見丘小学校

今日の予定

1. 校長先生より
2. 今年度の校内研究について
3. 中神小の研究発表会の報告
(加藤先生より)
4. 分科会検討

☆昨年度の生活科・総合的な学習の引継ぎ

☆分科会の担当、研究授業の学年・授業者決め

☆アンケートの内容の確認

5. 副校長先生より

1. 校長先生より

研究主題

創造力・表現力に富み

正解のない課題に納得解を導く児童の育成
～語り合い、振り返りからの課題設定～

2. 今年度の校内研究について

「生活科・総合的な学習」の年間指導計画を実施し、

『ふじみの探究』を確立する1年にしましょう！

『未来をつくる富士見っ子』～大切な命～

各学年のテーマ

1年 「いのち×生活」 2年 「いのち×まち」 3年 「いのち×地域」

4年 「いのち×くらし」 5年 「いのち×環境」 6年 「いのち×生き方」

年3回研究授業 9月17日(水)・12月3日(水)・2月18日(水)

低・中・高学年の3分科会 学年(通常×さくら)

【今年度実践すること】

- ① 振り返りカードの活用（全教科）
- ② アンケートの実施（年2回）
- ③ 探究の記録（スライド・写真）
- ④ 授業観察の略案の蓄積

① 振り返りカードの活用（全教科）

【ふりかえりのコツ】

① できたこと・わかったこと

② おもったこと・きがついたこと

③ くふうしたこと

④ ぎもん・ふしぎにおもったこと

⑤ これからどういにかすか

こんなことを
じゅんばんに
かいてみよう！

おもいつかなかったら
とばしてOK！
じゅんばんを
かえてもOK！

※低学年バージョン

○ 「授業の流れ」「板書」

- ・ 授業の見通しがもてる工夫
- ・ 毎時間の「ふりかえり」
- ・ 「めあて」は青
- ・ 「まとめ」は赤に統一

※色覚に不便を抱えている子
へも配慮

参考資料 授業UD

【実践すること】

- ① 振り返りカードの活用（全教科）
- ② アンケートの実施（年2回）
- ③ 探究の記録（スライド・写真）
- ④ 授業観察の略案の蓄積

② アンケートの実施(年2回)

	課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現	振り返り→課題設定
1 2	<p>○興味や関心に合わせて、問いを決めることができる。</p> <p>・自分の知りたいことを見つけることができる。</p>	<p>○観察や体験を通して、情報を集めることができる。</p> <p>・よく見たり、ためしてみたりして、知りたいことを調べることができる。</p>	<p>○集めた情報を種類ごとに分けることができる。</p> <p>・集めた情報を、仲間分けすることができる。</p>	<p>○自分が伝えたいことを、友達と一緒に発表することができる。</p> <p>・友達と発表することができる。</p> <p>○伝えたいことを、仲間と協力して発表することができる。</p> <p>・友達と協力して発表することができる。</p>	<p>○学んだことを言葉や、絵や文にして振り返り、これから、さらにやりたいことを決めることができる。</p> <p>・学んだことを振り返ることができる。</p> <p>・さらに知りたいことを見つけることができる。</p>
3 4	<p>○自分が調べたい課題を、設定することができる。</p> <p>・自分が調べたいことや、解決したいことを考えることができる。</p>	<p>○目的に応じて、人に聞いたり、図書資料やタブレットを活用して調べたり、必要な情報を集めることができる。</p> <p>・知りたいことに合わせて、人に聞いたり本で調べたり、タブレットで調べたりして、情報を集めることができる。</p>	<p>○集めた情報を種類ごとに分けることができる。</p> <p>・集めた情報を、仲間分けすることができる。</p>	<p>○相手や目的を意識して、様々な表現方法を経験しながら、仲間と協力して発表することができる。</p> <p>○相手や目的を意識して、表現の仕方を工夫し、仲間と協働して表現することができる。</p> <p>・伝えたいことや、伝えたい人に合わせて発表の仕方を工夫し、友だちと発表することができる。</p>	<p>○プロジェクトの結果を振り返り、より深めたい課題を設定することができる。</p> <p>・これまでの総合的な学習の時間を振り返って、「もっと知りたいこと」「新たに知りたいこと」を考えることができる。</p>
5 6	<p>○テーマを基に、多様な視点から課題を設定することができる。</p> <p>・探究テーマを基に、様々な視点から課題を設定することができる。</p>	<p>○多様な方法で自分の目的や意図に即した情報を収集することができる。</p> <p>・自分の目的や考えに合わせて情報を集めることができる。</p>	<p>○集めた情報を、分野やジャンルごとに紙面やタブレットに蓄積することができる。</p> <p>・タブレット端末や探究ノートなどを活用して、(情報を)分類、整理することができる。</p>	<p>○他教科等で培った表現力を使い、相手や目的に応じて、仲間と協働してまとめ、表現することができる。</p> <p>○他教科等で培った表現力を活用して、相手や目的に応じて、分かりやすく、仲間と協働して表現することができる。</p> <p>・これまでの経験を生かし、相手や目的に合わせて、友達と一緒に協働しながら、まとめたり発表したりすることができる。</p>	<p>○プロジェクトや活動結果を振り返り、多様な視点からより深めたい課題を設定することができる。</p> <p>・自分の学びをふり返り、より深めたい課題を設定することができる。</p> <p>・多様な視点(友達・地域・環境・歴史・くらしなど)を取り入れて課題を設定することができる。</p>

【実践すること】

- ① 振り返りカードの活用（全教科）
- ② アンケートの実施（年2回）
- ③ 探究の記録（スライド・写真）
- ④ 授業観察の略案の蓄積

今年度実践すること

④授業観察について

- ・**情報** ☆情報モラル ☆MESHを活用した授業
(目的ではなく手段)

※各教科の中で情報活用能力の育成

- ・**言語** ☆A2~A4の中から2つ
図書資料の活用、図書館活用年間計画の中から2つ
(マスト)

- ・**課題** ☆探究ノートの活用
☆振り返りからの課題設定

令和5年度 研究構造図〔情報〕分科会

研究主題

創造力・表現力に富み、正解のない課題に納得解を導く児童の育成

— 情報活用能力・言語能力・課題解決能力を働かせた探究的な学びを通して —

情報分科会の重点

児童が探究学習をする上で、情報機器は、情報源を豊かにしたり、たくさんの情報を整理・分析したり、納得いくまで表現の試行錯誤をしやすくしてくれる有効的な手段である。

本分科会では、ICTを活用した情報活用能力を育成し、論理的に思考し、新しい価値を創造する力を養うことを目指す。

育てたい資質・能力



- 全ての教科において、1人1台端末を効果的に活用する年間指導計画を作成・実践・記録
- 情報活用能力育成指導計画を作成(6年間の系統性)し、授業実践・検証
- プログラミング教育の指導計画を作成(6年間の系統性)し、それに基づく授業実践(年3回×6年間)
- 情報モラル教育の指導計画を作成(6年間の系統性)し、それに基づく授業実践(年3回×6年間)
- ◇上記の授業実践を通して、児童の情報活用能力の成果検証を行う。

令和5年度 研究構造図〔言語〕分科会

研究主題

創造力・表現力に富み、正解のない課題に納得解を導く児童の育成

— 情報活用能力・言語能力・課題解決能力を働かせた探究的な学びを通して —

言語分科会の重点

全ての学びの基礎となる言語能力を働かせながら探究的な課題解決に取り組むことで、創造力・表現力に富み、正解のない課題に納得解を導く児童を育成する。

そのために、「本に親しむ場」であるだけでなく、各教科等における課題解決的な学習、探究的な学習を支えるとともに、主体的・対話的で深い学びを効果的に進める場でもある学校図書館を利活用する。

育てたい資質・能力



- 学校図書館の体系的な活用計画・指導計画を策定し、図書館を活用した実践授業を行う。
- 朝読、読書記録、読書感想文、読書郵便等による読書の習慣化、読後の言語化、共有化を図る。
- 週1回「短作文チャレンジ」を実施し、バランスよく言語能力を伸ばすテーマ・条件を設定する。
- 年1回「思索コンテスト」を実施し、より深く考えるためのテーマ設定を行う。
- 国語科「読む」単元を充実させる。(課題解決的な「読み」を提案する授業研究)
- 北里大学の研究を通して、書く力・読む力を中心とした言語能力の成果検証を行う。

令和5年度 研究構造図〔課題解決〕分科会

研究主題

創造力・表現力に富み、正解のない課題に納得解を導く児童の育成

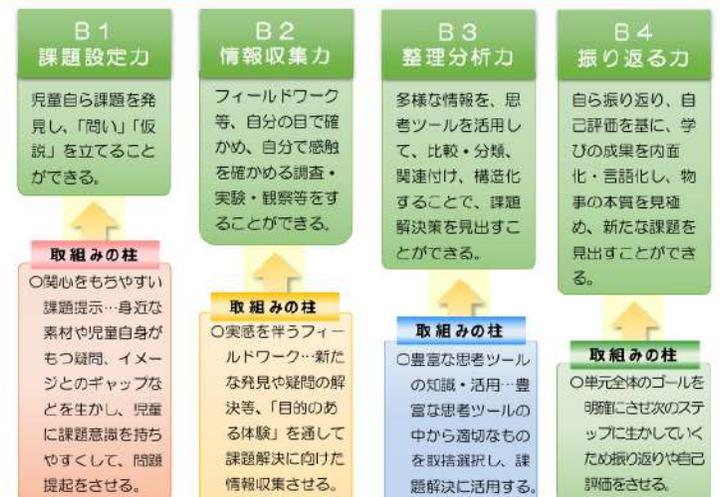
— 情報活用能力・言語能力・課題解決能力を働かせた探究的な学びを通して —

課題解決分科会の重点

探究学習とは、答えのない問いに向き合い、自らの可能性に気付く学びである。自ら課題を見付け粘り強く課題を探究し、協働しながら新しいものを創造していく資質・能力を育てるために、様々な課題解決方法を実践的に学び、活用していくことが大切である。

本分科会では、自分で考え自分の言葉で表現し、対話や協働を通して、納得解を生み出す力を育成することを目指す。

育てたい資質・能力



- 『ふじみ探究ノート』（学びの本質を変える探究メソッド）を作成・活用・検証し、すべての学年が多様な教育活動において探究的な学びを通して、学習の基盤となる資質・能力を育成することで、正解のない課題に納得解を導き、新たな価値を創造できる力を身に付けていく。
- 「図書館を使った調べ学習コンクール」への参加を通して、課題解決力の成果検証を行う。

今年度実践すること

④観察授業について

- ・**情報** ☆情報モラル ☆MESHを活用した授業
(目的ではなく手段)

※各教科の中で情報活用能力の育成

- ・**言語** ☆A2~A4の中から2つ
図書資料の活用、図書館活用年間計画の中から2つ
(マスト)

- ・**課題** ☆探究ノートの活用
☆振り返りからの課題設定

育てたい資質・能力

C1

情報機器基本操作

安全・安心に、手段の基礎的な操作ができる。

取組みの柱

○『教育の情報化ガイドブック』（ふじみGIGAスクールスマート構想、他ブレとの約束、ロードマップ、基本的操作簡易マニュアル等を含む）の策定・活用

C2

情報活用実践力

情報手段の特性等を理解し、課題や目的に応じた適切な活用し、発信・伝達ができる。

取組みの柱

○教科の学びを深め学びの本質に迫るための1人1台端末による新たな授業スタイルの視点で、新たな学びの構築

C3

プログラミング

問題解決の手順・順序を理解し、コンピュータの特性をいかして思考・判断・表現し、簡単なプログラムができる。

取組みの柱

○プログラミング教育の意義や目的を整理し、効果的な指導資料等の開発活用

C4

情報モラル

自他の情報を大切にし、情報社会や情報手段の特性の理解と、安全かつ適切に情報手段を活用しようとする考え方と態度を身に付けている。

取組みの柱

○SNS 東京ノートや情報モラル教育サイトなど、指導資料の整理・活用

今年度実践すること

④観察授業について

- ・**情報** ☆情報モラル ☆MESHを活用した授業
(目的ではなく手段)

※各教科の中で情報活用能力の育成

- ・**言語** ☆A2~A4の中から2つ
図書資料の活用、図書館活用年間計画の中から2つ
(マスト)

- ・**課題** ☆探究ノートの活用
☆振り返りからの課題設定

育てたい資質・能力

A1 図書館活用力

図書館資料から情報を収集・分析・評価し、論述することができる。

取組みの柱

○学校図書館の利活用：幅広い読書を通し、必要な知識を得たり、自分の考えを広げたりする。

A2 論理的思考力

概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりすることができる。

取組みの柱

○知的活動としての言語力向上：言葉を手掛かりとしながら論理的に思考したり、表現したりする。

A3 感性・情緒力

体験から感じとったことや想像したことを、豊かに表現することができる。

取組みの柱

○感性・情緒の基盤としての言語力向上：言葉を手掛かりとしながら豊かに想像したり、創作したりする。

A4 伝え合う力

互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを、発展させることができる。

取組みの柱

○伝え合いの道具としての言語力向上：考えや伝えたいことを適切に表現し、伝達するための語彙を増やす。

図書館たんていだん

あなたの学校の図書館では、本をさがしやすくするために、どのようなふうがされていますか。



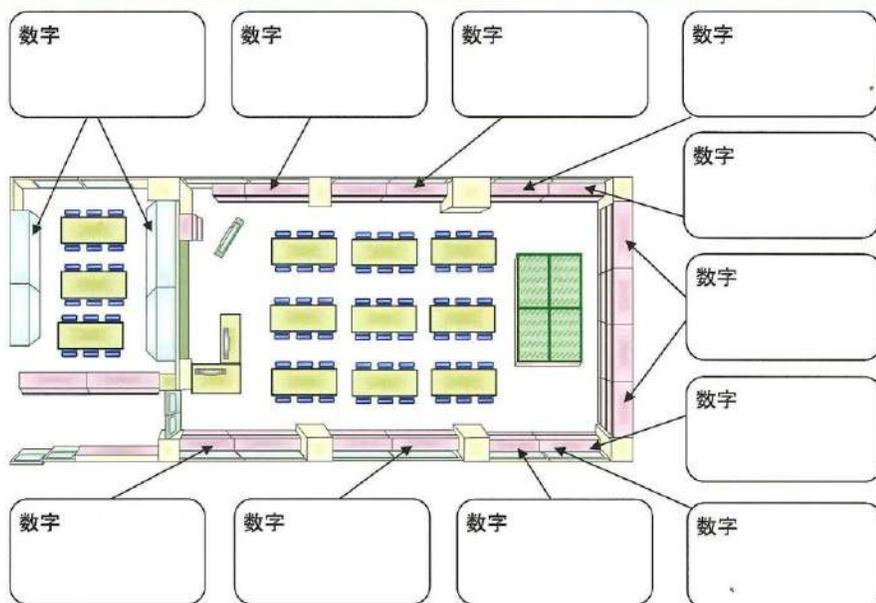
図書館の本は、ないうようにごとに、番号で分けてならべられています。

○本のぶんるいのしかたのれい

番号	ないう
0	調べるための本
1	ものの考え方や心についての本
2	むかしのことや ちいきの本
3	社会のしくみの本
4	しぜんにかかわる本
5	ぎじゅつやきかいの本
6	いろいろなさんぎょうの本
7	げいじゅつやスポーツの本
8	言葉の本
9	文学の本

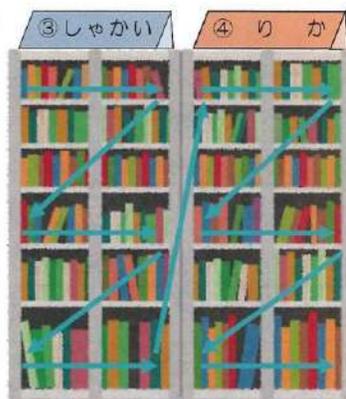
▼グループで、学校図書館の地図を作り、どのたなに、どんなしゆるいの本があるかを調べましょう。

(2) どこに、どんな「本のなかま」があるでしょうか。



(3) 本だなの「本のなかま分け」^わと「本のならび方」^{かた}

数字	本のなかま分け ^わ	5
0		6
1		7
2		8
3		9
4		E



正解のない課題に
納得解を導く
ふじみ探究
メソッド

ふじみ
探究

学習の基盤となる
資質・能力を育成



今年度実践すること

④観察授業について

- ・**情報** ☆情報モラル ☆MESHを活用した授業
(目的ではなく手段)

※各教科の中で情報活用能力の育成

- ・**言語** ☆A2~A4の中から2つ
図書資料の活用、図書館活用年間計画の中から2つ
(マスト)

- ・**課題** ☆探究ノートの活用
☆振り返りからの課題設定

育てたい資質・能力

B1 課題設定力

児童自ら課題を発見し、「問い」「仮説」を立てることができる。

取組みの柱

○関心をもちやすい課題提示…身近な素材や児童自身もつ疑問、イメージとのギャップなどを生かし、児童に課題意識を持ちやすくして、問題提起をさせる。

B2 情報収集力

フィールドワーク等、自分の目で確かめ、自分で感触を確かめる調査・実験・観察等を行うことができる。

取組みの柱

○実感を伴うフィールドワーク…新たな発見や疑問の解決等、「目的のある体験」を通して課題解決に向けた情報収集させる。

B3 整理分析力

多様な情報を、思考ツールを活用して、比較・分類、関連付け、構造化することで、課題解決策を見出すことができる。

取組みの柱

○豊富な思考ツールの知識・活用…豊富な思考ツールの中から適切なものを取捨選択し、課題解決に活用する。

B4 振り返る力

自ら振り返り、自己評価を基に、学びの成果を内面化・言語化し、物事の本質を見極め、新たな課題を見出すことができる。

取組みの柱

○単元全体のゴールを明確にさせ次のステップに生かしていくため振り返りや自己評価をさせる。

【関連する取り組み】

- 図書館利活用年間指導計画の活用
- 情報モラル指導年間指導計画・MESH活用計画の活用
- 各教科のカリキュラムマネジメント
- 地域との連携（昨年度連携した地域の連絡先を作成中）
- ふじみ探究の日・読書感想文・調べるコンクール
 - ・思索コンテスト・短作文（短作文ノート）・探究ノート

3. 中神小の研究発表会の報告

加藤先生から

4. 分科会検討

☆昨年度の生活科・総合的な学習の新旧引継ぎ

☆分科会の担当、研究授業の学年・授業者決め

☆アンケートの内容の確認

【 R7 校内研究 分科会担当表】

低学年	中学年	高学年
岡本・田村・山谷	太田・鈴木	井出(凶)・前三盛
田邊・真壁・奈良	吉田・加藤	西方・大塚
今井	宮澤・黒羽	小林・平間・木下
桐口	乾(情)・星	秋山
浜砂・宮原	我謝	壺井

決めること ☆授業者・世話人

次回

4月21日(月)15:00~15:45

『振り返りの仕方』 理科での実践

石川先生より

『見通しをもった年間指導計画の組み立て方』

社会科での実践

奥山先生より

5.副校長先生より

今日の校内研究のまとめ